

第3回講演会プログラム

時 間	国際ラドン α 線臨床研究会 挨拶および講演内容	
10:00～10:10	代表理事挨拶	後藤章暢（兵庫医科大学 研究基盤教育学元教授）
10:10～11:05	講演 ①	前立腺がんに対するPSMAセラノスティクスと免疫放射線治療 —アブスコパル効果と腫瘍代謝をつなぐ個別化治療戦略— 佐藤俊彦（宇都宮セントラルクリニック）
11:05～12:00	講演 ②	小線量放射線による Treg 制御と自己免疫疾患の改善 小島周二（東京理科大学名誉教授）
12:00～13:00 （昼休み）	講演 ③	238-U 鉱石の数量使用と核原料使用規制 —新規 α 線発生器の紹介とその放射線量— 村田昭久（Lead & CO. 代表取締役）（ランチョンセミナー）
13:00～13:55	講演 ④	微量オゾンのホルミシス作用と薬理学的効果 三浦俊明（北海道大学名誉教授）
13:55～14:25	講演 ⑤	SARS-CoV-2mRNAワクチン接種後ターボ癌患者におけるラドン α 線の応用 福田克彦（統合医療センター福田内科クリニック副院長）
14:25～15:00	講演 ⑥	TCTP前後にホルミシス療法とIMFを組み合わせた三段階免疫戦略 高良 毅（タカラクリニック理事長）
15:00～15:30	講演 ⑦	ラドン療法の長期・頻回利用者における健康状況—安全性評価に向けた予備調査— 西河 潤（にしかわクリニック理事長）
15:30～15:40	休 憩	
15:40～16:50	パネルディスカッション：免疫制御から考える最適ながん・免疫疾患 座長: 西河 潤 パネリスト：福田克彦、三浦俊明、後藤章暢、小島周二、高良毅、矢野慎吾	
16:50～17:00	閉会の挨拶	後藤章暢（国際ラドン α 線臨床研究会代表）